３学期終業式式辞

おはようございます。３学期の終業式に参加してくれてありがとうございます。皆さんが元気に学校に来ていることをうれしく思います。

この３年間、猛威を振るったコロナウィルス感染症もようやく落ち着きを見せてきて、今日はまだマスクの着用をお願いしていますが、新学期からは学校でもマスクの着用を求めないことが基本となります。また、ゴールデンウィーク明けの５月８日には法律上の５類感染症に位置付けられる予定であり、今後、マスク着用以外の感染症対策についても見直しが行なわれる予定です。しかしながら感染症自体がなくなったわけではありませんし、その症状が軽くなるわけでもありません。重症化リスクのある人を感染させないための配慮はこれからも大切です。
また季節性インフルエンザの流行も完全には収まっていません。今後もTPOに応じた感染症対策をお願いします。

さて、３学期も今日までですが、この３学期の学校生活はどうだったでしょうか。楽しかったでしょうか。１月１０日の始業式で３学期は短いけれど、１年の総仕上げの時期だと話しましたが、みなさんはこの１年を振り返って自分が成長できたなという実感がありますか。

「心高かれ」という校訓のもと、高い志を持って自律的に行動し、４つの力を身につけ、地域や社会の発展に貢献できる人を育成する。
【究める力】自ら問いを立て、課題に対する答えを見つけ出す
【挑む力】様々な出来事や困難に勇気と信念を持って立ち向かう
【結ぶ力】多様な人たちと協力しながら、自分の役割を果たす
【愛する力】ふるさとへの愛着や周囲の人々への敬愛の念を持って行動できる。三国高校の教育目標です。

先日、ルールメイカープロジェクトの人たちは、制服に課題を見つけて行動に移してくれました。自ら問いを立て、課題に対する答えを見つけようとする「究める力」ですね。これまでやったことのないことに勇気と信念を持って「挑む力」を発揮してくれました。３月１０日から２０日の間、「制服レボリューション」が皆さんも知ってのとおり実施されました。私服を着て登校して来た人、制服を通した人、それぞれだったと思いますが、みんな何かしら感じること、考えることがあったのではないでしょうか。テレビ局や新聞社の方が取材に来ましたが、それぞれの人がインタビューに答えて、自分の意見をしっかり話してくれている姿が私にはとても頼もしいものに思えました。

既存の校則やルールに対して生徒が主体となり、先生・保護者などの関係者との対話を重ね納得解をつくること（ルールメイキング）を通して、課題発見・合意形成・意思決定をする力を高めていく「ルールメイカー育成プロジェクト」。三国高校はこの２年間、それに取り組んできました。これまで「変わらない」と思われてきた校則・ルールにも、変化が生まれつつあるのかもしれません。

予測不能な未来を生き抜く力が全ての若者に求められる中、多くの若者が「自分が参加することで社会を変えられる」という感覚を持てずにいます。中高生にとって身近な社会である校則・ルールについて、多様な意見と出会い対話しながら見直し、作り合うことは「自分たちの手で何かを変えることができる」という大きな経験になると期待しています。

３年生の中には、自宅に今度の選挙の投票券が送られてきた人がいるでしょう。せっかく手に入った選挙権です。候補の人たちの話をよく聞いて、自分の判断を１票に託してもらいたいと思っています。皆さんはすでにおとなの仲間入りを始めています。

ウクライナでの戦争、トルコ南部の大地震、世界ではさまざまな悲劇・不幸なことが起こっています。そしてそれに私たちは何もできないと思ってしまいがちです。私たちは無力なのではないかと諦めてしまうかもしれません。先日、三国中学校吹奏楽部の演奏会を見に行きましたが、ウクライナ国歌を演奏してくれました。中学生が平和への思いを表明する機会であり、私たちにもできることはあるのだと思いを新たにするとともに、とても勇気づけられました。

一人ひとりの判断力を伸ばす。自分の行動に責任を持つ。生徒の皆さんを信頼して、しっかり自分を律することができるという前提で、学校はみなさんを支援していきたいと思います。

終業式に当たって、改めて三国高校の教育目標を思い出してもらい、目標を達成できたのか振り返る機会として欲しくてお話をしました。２年生はもうすぐ３年生です。学校の中心として活躍してください。１年生ももうすぐ後輩の１年生が入学してきます。新１年生に恥ずかしくない２年生となりましょう。

令和５年４月７日また皆さんにお会いできることを楽しみにしています。私からは以上です。